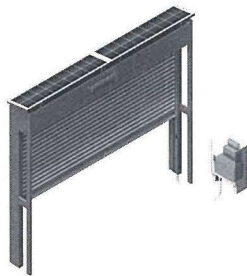


5月に「三協アルミ産業用太陽光発電架台の新規開発」をリリースするなど、アルミ製架台の軽量・耐食性を活かした研究開発をすすめている。7月に電力の全量買取制度がスタートしたことで、今後の需要増加が予想され、今回、顧客対応の専任セクションを設置し、技術提案を含め太陽光発電架台や周辺設備の販売を強化していく考えだ。

三和シャッター工業

ソーラーパネル搭載シャッターゲート「サンゲートソーラー」発売



三和シャッター工業(木下和彦社長)は、ソーラーパネルでシャッターを開閉するシャッターゲート「サンゲートソーラー」を11月20日から新発売した。これは環境ビジネス拡大に向けて設置された「エコ事業推進課」の企画開発したもの。

戸建住宅向け1台用シャッターゲート「サンゲートライト」のケース上部に取り付けたソーラーパネルを電源にするもので、電源工事が不要になる。ソーラーパネルは、W1472×D365mm×2枚使用。発電能力は最大126W(63W×2枚)。

非常用電源として家電製品に接続できる電源ボックスは、サイズW400×H650×D250mm。

定格出力AC100V、50Hz、300W(瞬間400W)。バッテリー鉛蓄電池(100Ah、寿命約4年)。

操作方法は電動式(リモコン2台標準装備)。耐積雪強度20cm、使用条件は1年通して晴天時の正午前後に1日4時間以上直射日光が当る場所(積雪地を除く)。使用頻度1日4開閉以下。不日照状態が3日間つづいても動作可能。参考価格は「サンゲートライト」搭載の太陽光発電システム78万7500円。

営業支援ツールとして「iPad」1400台を導入

三和シャッター工業は、効率的かつスマートな提案の実現と営業員の提案力の向上をめざして、「iPad」1400台を導入した。

「iPad」には、全カタログデータ175種類を内蔵、「動く建材」のスピードと音を伝える、全64種類の商品動画を搭載する。

そのほかにも、提案資料や戦略商品資料を格納されている。たとえば、ガレージドアやマンションドアの提案の際に、外観を「iPad」搭載カメラで撮影し、好みのデザインやカラーをシミュレーションして完成イメージを提案できる。今後、シャッターやドア以外の間仕切・ステンレス・自動ドアなどを含めた多品種に拡充していく。

ニチハ

砂岩の風合いを再現した「シャルムロック」、割石表情の「レンクストーン」等16ミリ厚の秋の新商品を8柄43品番を新発売

ニチハ(山中龍夫社長)は、11月末から秋の新商品8柄43品番